

研究の概要

農業部門

重点研究目標 ～めざす姿～

ア.
高収益、省力生産を
可能にする
スマート農業の実現

イ.
気候変動等の
環境変化に対応した
持続可能な農業の推進

ウ.
愛知の強みを生かした
競争力の高い農業の創造

エ.
愛知のブランド力を高める
多彩な品種の創出による
需要の拡大

試験研究の取組

(ア) 高度なセンシング等に基づく
最適管理技術の開発

(イ) 作物の能力を最大限に発揮させる
環境制御技術の開発

(ウ) スマート農業技術の体系化と
社会実装

●水稲、小麦、大豆における
センシング技術の開発

●バラにおける
LED補光を活用した
高度環境制御技術の開発

●施設果菜における
生育情報と環境情報による
収量予測技術の実用化



(ア) 地球温暖化等の生産環境に
対応する技術の開発

(イ) 新たな病害虫や多様なリスクに
対応する技術の開発

(ウ) 環境に配慮した
持続的農業技術の開発

●ブドウの
高温障害対策技術の開発

●モモ、ナシの急性枯死症状の
発病様態の解明及び
原因細菌の迅速検出技術の開発

●土壌の養分供給力及び
土壌肥沃度の予測技術の開発



(ア) 低コストで労働生産性を高める
技術の開発

(イ) 消費者等の多様なニーズに
対応する生産技術の開発

(ウ) 中山間地域等の活性化や、
多様な経営体に対応する
生産技術の開発

●ブロッコリーの
生育斉一性の向上による
省力化技術の開発

●特徴のある香味を持つ
てん茶品種の生産技術の開発

●夏秋トマト・ミニトマトの
ヤンガラ培地耕における
日射比例制御技術の開発



(ア) 気候変動等に強く多様なニーズに
対応した水稲・小麦品種の開発

(イ) 多様な消費者ニーズや地域特性に
対応した園芸品種の開発と選定

(ウ) 愛知のブランド力を高める家畜の
系統の開発と優良系統の保存

●高製粉性、病害抵抗性を
有する「きぬあかり」の
同質遺伝子系統の開発

●あいち型植物工場に適した
イチゴ促成栽培用系統の開発

●外部卵質に優れ
雌雄鑑別を可能にする
名古屋コーチン新系統の開発

